

自己評価公表シート

令和6年度 第2回 津山社会福祉事業会 城西保育園

1. 本園の保育目標

- 子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。
1. 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。
 2. 豊かな生活経験のなかから基本的な生活習慣を身につける子どもを育てます。
 3. 安心した気持ちでさまざまな活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。
 4. 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育について 保育理念・保育観の理解、保育計画の作成、計画に基づいた保育実践に関して職員間の共通理解を図る。	保育所保育指針をもとに、全体的な計画・保健計画等を基本とし、月週指導計画や個人指導計画を作成し、保育を行っている。虐待防止研修を定期的に行い、振り返りや反省を行うとともに、チーム会議や職員会議、連絡会等で職員間の共通理解を図っている。
職務について 自分の職務や役割分担を理解し、職員間で意見交換しながら方向性を決定し、責任を持って仕事に取り組む。	毎月の年齢別やチーム会議等で意見交換を行うなど、意見を出し合う環境づくりに努めている。経験年数の差もあるが、その都度話し合う場をつくり全職員で共通認識が持てるようにしている。また、就業時間内に終わるよう努めているが、出来ないこともある。職員間の連携が図れるよう意識的にコミュニケーションを取るようにしている。
資質向上について 保育士・栄養士として人間性と専門性の向上のため、自己研鑽に努める。	対面での研修も増えてきているが、オンラインでの研修を併用しながら専門知識の向上に努めている。園内研修も行い、研修での学びを報告し共通認識を持つようにしている。
その他 異年齢児での活動を通して遊べる環境作り	3歳児以上クラスは、縦割りのグループを作り年間を通して異年齢児での活動を行っている。また、日頃の遊びの中でも2歳児から5歳児まで一緒に遊んでいる。

3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み内容
各年齢の子どもの発達を捉えた、子どもの主体的な保育の計画・実施をする。	子どもの成長発達や興味を抑え、「たのしい」「やってみたい」と思える保育を計画し、子どもが主体的に遊べる保育環境にも配慮した保育を実践する。余裕を持った計画や柔軟な対応を心がけ、豊かな保育に取り組む。
全職員の共通理解と職務の計画性に努める。	会議やミーティングを工夫し、共通理解を図る。計画性を持ち取り組むことで、自分の職務を時間内に行えるようにする。ICTの活用により業務負担の軽減に繋げる。
職員の資質向上に取り組む。	子ども一人ひとりに寄り添った支援を職員全体で行えるように、研修に参加し専門知識の向上に努め、会議等で情報共有を図る。保育園全体で子どもを見守りながら保育できるように努める。
保護者、地域、専門機関との連携を図る。	新しいICTの導入により使い方など丁寧な対応を行う。子どもたちと一緒に手紙を配りに行ったり、地域の行事に参加することで、地域の方が保育園の行事参加など交流を深めていく。